

東北ハイテク研究会

ニュースレター (No.32 2019.2)

(東北食農ネットワーク T-FAN)



東北食農ネットワーク” T-FAN” 第 32 号をお届けします。

第 32 号では、農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室と当研究会が開催しました「平成 30 年度 産学官連携セミナー」(31/1/23 開催、於：仙台市、参加者 61 名)について報告します。

セミナー開催の目的

今回の産学官連携セミナーは、農林水産省における農林水産技術会議事務局研究資金事業「イノベーション創出強化研究推進事業」、「戦略的プロジェクト研究推進事業」、「スマート農業加速化実証プロジェクト」に係る事業内容や公募等について説明会を開催するとともに、昨年度の「イノベ強化事業」(応用研究ステージ)に応募して採択された方の講演、応募に関わる個別相談会を行い、各事業に対する理解を深めていただくとともに応募者の拡大を図るために開催しました。

セミナーのプログラム

セミナーの内容は、以下のとおりです。

- | | |
|--|-------------|
| 開会 | 13:00 |
| 1. 農林水産省及び国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
生物系特定産業技術研究支援センターによる事業・公募説明 | |
| 1) イノベーション創出強化研究推進事業について | 13:05~14:20 |
| 2) 戦略的プロジェクト研究推進事業について | 14:20~15:05 |
| 3) スマート農業加速化実証プロジェクトについて | 15:05~15:40 |
| 2. 全体質疑 | 15:40~15:55 |
| 3. 講演
「イノベーション創出強化研究推進事業への応募のための課題設定、
参画機関の構成、成果の出口戦略について」
岩手大学農学部准教授 下野 裕之 氏 | 16:00~16:40 |
| 4. 農林水産省産学連携支援コーディネータによる競争的研究資金応募相談 | 16:40~18:00 |

説明会・講演・個別相談の内容

<事業説明会>

農林水産技術会議事務局及び農業・食品産業技術総合研究機構の担当者から、「イノベーション創出強化研究推進事業」、「戦略的プロジェクト研究推進事業」、「スマート農業加速化実証プロジェクト」について、事業の内容・応募の方法について説明があり、質疑が行われた。説明の中では、研究成果の社会実装が重要であり、評価に当たっても重視されることが強調された。

<講演>

昨年度の「イノベーション創出強化研究推進事業」（応用研究ステージ）に応募して採択された岩手大学の¹下野裕之准教授から、「イノベーション創出強化研究推進事業への応募のための課題設定、参画機関の構成、成果の出口戦略について」と題して講演が行われた。非常にわかりやすい講演であり、最後に先生は「継続あるのみ」「キーテク」「チーム力」「外部からのアドバイス」「根気強く」の5つを採択のポイントとして講演を締めくくられた。

<個別相談>

農林水産省産学連携支援コーディネータによる競争的研究資金応募に関わる相談会が開催され、今回はイノベ強化事業3件、スマート農業1件のご相談に対応しました。

セミナーの様子



質疑応答の様子



下野先生のご講演



相談会の様子

